

第5学年1組 図画工作科学習指導案

半田市立花園小学校 伊藤増代

単元 ジャクソン・ポロックに挑戦

- 目標
- ・美術作品を鑑賞することに興味をもち、積極的に活動を楽しもうとする。
 - ・行為の跡が作品になる作品構成や色の使い方の工夫に気付き、そのよさを生かした作品の構想を練ることができる。
 - ・ドリッピングの技法を生かした作品制作を体験し、表現のおもしろさを味わうことができる。
 - ・作品を通して表現方法の工夫に気付き、作者の心を感じ取ったり、今後の自分の制作表現に生かしたりするなど、造形感覚を養うことができる。

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項
1	1. グーグル・デジタルミュージアムを利用し、ポロックの作品などを鑑賞する。 2. ワークシートに記録する。	<ul style="list-style-type: none"> ○（ICTルームにて）一人一人が自分のペースで、好みの美術館を表示し、見たい作品を鑑賞する。 ○感想・気に入った作品を印刷したものなど。
2	1. ポロックの作品を鑑賞し、描き方や色について思ったことを発表する。 2. 学習課題と手順を知る。 ポロック作品のおもしろさや楽しさ、工夫をたくさん見つけよう。 3. ポロックの作品を鑑賞し、見付けたことや気が付いたことを発表する。 (1) 工夫や特徴を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ○どうやって描いたのだろう ○どんな気持ちで、何を考えてこれらの作品を作ったのだろう (2) 友達の発表を聞き、より鑑賞を深める。 (3) 現代には、さまざまなアートの形態があることをつかむ。 4. ドリッピングを生かした作品を共同で作る。 (1) グループで話し合っってテーマ（キーワードから）を選択し、それを元に各自が基調色を決める。 (2) 水の量を調節したり、たらす高さを考えたりして、一人が7、8本の線跡を残す。 5. 本時の反省をし、後片付けをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞→作品作り(共同)→鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポロック生誕100年の記念展が、愛知県美術館で開かれたことを知らせる。 ○作品の大きさや題名の付け方などにも着目させ、おもしろさを味わわせる。 ○作品鑑賞の後、ポロックと同じような技法で描いてみることを知らせる。 ○絵の具と筆を使い、4～5人のグループで一枚の作品に仕上げることがを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 作品写真を提示し、ギャラリートーク方式で鑑賞を深めていく。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○「見る・聞く・話す」ことを意識させ、感じ取ったことを共有していく。 ○アクション・ペインティング（行為の跡が作品になる）のジャンルにある作品であることを知らせ、「楽しそうだ。やってみたい。」という興味をもたせる。 ○他の人の見方、感じ方を聞くことで自分の感じ取り方を確認し、より鑑賞を深めるようにさせる。 ○色調を決めるためにキーワードを与え、自分の使いたい色を優先させながらも、全体としてのまとまりができるように考えさせる。 (キーワード「海」「森」「ミラクルワールド」など) ○やり直しがきかない作品であることを理解させ、協力して作業にあたらせる。 ○ドリッピングの実践から、ポロック作品についての鑑賞の深まりを発表させ、まとめていく。